

令和5年度 当初予算要求のポイント

教育委員会

1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

○ 探究を核とした学びの改革

認知や発達の特性に応じた個別最適な学び、GIGAスクール構想によるICTを活用した学びの深化、全国に先駆けた信州型の学びや探究学習のさらなる充実により、これからの時代に必要とされる新たな学びを実践するとともに、探究の学びを実践する教員養成研修プログラムの開発や学びの改革を担う教員の育成により、探究を中核とした学びの改革を進展

○ 新たな教員確保と教員の負担軽減

教員の働き方改革のさらなる推進に加え、教員として働く魅力の発信や採用試験の見直しにより教員の確保を図るとともに、教員不足に伴う欠員に機動的に対応する教員の配置や産育休代替教員の年度当初からの前倒し配置、小学校高学年への専科指導教員の配置などにより教員の負担を軽減

○ 高校再編・整備

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針など、「新たな高校づくり」を地域と協働し推進するとともに、探究的な学びのための学習空間デザインを取り入れたこれからの新しい学びやZEB化に対応した施設整備を推進

2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる

○ 新たな多様な学びの場の創造

夜間中学・不登校特例校など、新たな多様な学びの場について、市町村や有識者を交えた検討会議を設け設置について検討

○ 特別支援学校改革の推進

一人ひとりの可能性を最大限伸ばすとともに、インクルーシブな社会をリードする学校を実現するため、自立活動担当教員の増員やICT・ATを活用し特性やニーズに応じた支援により、特別支援学校改革を推進

○ 困難や悩みを抱える児童生徒への支援

いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に対し、未然防止や早期発見・早期対応に必要な支援及び不登校児童生徒への市町村と連携した支援体制を整備

3 生涯にわたり誰もが学びあえる地域の拠点をつくる

○ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーターの配置

多様な他者と共に学び、共に学校や地域を創っていく、「共学共創」を通じて「新しい社会を創造する力」を育成するため、学校と地域をつなぐ連携コーディネーターを配置

4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

○ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制の整備支援

地域全体で中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、運営組織やスポーツ団体等の持続可能な体制整備や指導者の確保等を支援

○ 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）に向けた競技力向上・開催準備

第82回国民スポーツ大会における天皇杯・皇后杯獲得と大会終了後の競技力の維持・定着を目指し、競技団体への支援や成年選手の強化指定、優れた競技力を有する者の確保を行うとともに、5年後に迫った大会の開催準備を本格化するため、競技役員等の養成や競技運営に係る市町村競技会場の施設整備への支援を実施